

平成27年5月26日

報 告 書

島田市議会議長 紅林 貢 様

島田市議会議員 大石 節雄
島田市議会議員 清水 唯史
島田市議会議員 伊藤 孝
島田市議会議員 佐野 義晴
島田市議会議員 桜井 洋子
島田市議会議員 藤本 善男

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

- 1 日時 平成27年5月22日（金）
午後7時00分 から 午後8時40分 まで
- 2 会場 川根支所 大会議室
- 3 参加者数 11人（男性 9人、女性 2人）
- 4 役割
 - (1) 受付 全員
 - (2) 司会 佐野義晴
 - (3) 挨拶（概要） 大石節雄
 - (4) 報告 （総務消防）清水唯史
（厚生教育）桜井洋子
（経済建設）伊藤 孝
 - (5) 答弁 全員
 - (6) 記録 藤本善男

5 報告事項

(1) 議会の活動の動向の市民への報告について

① 総務消防常任委員会

- ・ 地方創生関連、市役所本庁舎長寿命化診断などの補正予算について
- ・ 地域おこし協力隊、フォトロゲイニング、防災（広域消防、同報無線一本化及びテレホンサービス開始について）など平成 27 年度予算について
- ・ 総合防災訓練について自衛隊と協力した訓練を検討している件について
- ・ 過疎地域自立促進基金条例の制定について

② 厚生教育常任委員会

- ・ かわね保育園民営化事業について
- ・ 子育てコンシェルジュ設置、医療費無料化、生活保護費について
- ・ しまだ大井川マラソン大会の市の所管を変えたことの議論について
- ・ スクールソーシャルワーカー加配について
- ・ 賛否が分かれた議案が 5 件あったことの報告

③ 経済建設常任委員会

- ・ プレミアム金券事業、企業内子育て環境アップ事業、販路開拓支援事業、観光特産品開発事業について
- ・ 大井川鐵道運賃割引について

④ 報告に対する質疑

Q 軽度生活支援についてこれまではヘルパー資格不要だったが、制度変更で資格が必要になると聞くがどうか。

A 制度は後退させないと答弁得ている、国はむしろ援助していく方向と聞く。

Q 川根小学校に学童保育が無く、こどもの入学により退職する人がいるが。

A 学童保育の機能がある児童館の状況とあわせて当局へ伝える。

Q かわね保育園民営化のメリットデメリットを教えて欲しい。

A 民営化による不安はあったが保育園同士の競争と創意工夫でその後デメリットは特に聞いていない。（金谷中央保育園の事例）

A 移管先が決まらない中で民営化が進められた。移管先決定後の時間が不足、年数の経過で当初決めたルールが薄れていった。民営化で公立小学校と壁ができた気がする。（みどり幼稚園の事例）

Q 保育園民営化の懸念事項として宗教的に偏った経営を心配する声がある。

A 現在は経営する法人に対する条件などを決めている。過去の反省なども踏まえて話し合いをしている段階なので、不安とを感じる事項は意見として出していただければ良いと思う。

(2) 意見及び情報の交換について

- ・ 保育園の民営化について準備委員会で話をまとめているが、メリットデメリットで判断したい。保護者もそれぞれ忙しくコミュニケーションが不十分である。保護者だけでなくアンケートで地域の声を拾っていきたいが支援をもらえないか。との保護者意見に対し、市担当課から機会あれば説明したいと聞いているので地域でも説明会を実施したいとの自治会関係者意見あり。
- ・ 中山間地の集落は災害発生時には孤立の危険がある。避難経路を確保し安心した生活を送りたい。
- ・ 川根支所に昨年まですぐやる課があったが現在は月、水、金となってしまった。これまでの経過と今後すぐやる課復活の可能性はどうか。
- ・ 中山間地の振興について将来の目標が見えない。行政はリスクを冒せないとは思いますが大胆な提案をして欲しいとの意見に対し、川根には都会にない様々な良いところがあるとの移住者からの意見や、全国で地域おこしをやっている中で、川根としてのプラスアルファが何であるかを明確に示すべきとの地域おこし協力隊からの意見があった。
- ・ 伊久身地区で簡易水道の管理をしているが、大雨のたびに水道水が濁ったり異物が混入したりして困っている。水道料金も上がるようだが、これを機会に簡易水道を含めた水道設備の整備計画を工程表として示してほしい。
- ・ 大井川鐵道存続に向けた対応をお願いしたい。

(3) 市等への要望事項

- ・ 児童館の現況及び放課後児童クラブの必要性の確認。(市へ)
- ・ 保育園保護者に対するニーズ調査と支援。(市へ)
- ・ 中山間地の災害時避難経路の現状確認と経路の確保。(市へ)
- ・ 川根支所すぐやる課廃止の経過と今後の見通についての説明。(市へ)
- ・ 中山間地の振興については大胆な提案をという市民意見を伝える。(市へ)
- ・ 簡易水道の今後の整備計画についての工程表作成。(市へ)

6 まとめ(所見)

参加人数は10人とやや少なめであったが、参加者は日常生活においてそれぞれの問題を抱えながらも、前向きな姿勢で解決に向けて取り組んでいると感じた。

出された要望は市に対するものが多いが、「保育園民営化に対する不安の払拭」、「水道事業計画工程表の見える化」、「大井川鐵道の将来的な方向性」、「地域を売り出すために特化すべき事項」については議会としても積極的に取り組むべき事項であることを確認した。